海外安全対策情報（平成30年度第1四半期：コロンビア）

1 社会・治安情勢

(1) エクアドル国境付近をめぐる動向

ア 4月13日、3月に発生したエクアドル人ジャーナリストら3名の誘拐事件について、被害者が殺害された事実を確認したとエクアドルのモレノ大統領が発表。FARC離反兵の通称「グアチョ」が率いる一団の犯行を強く非難した。

イ 4月17日、「グアチョ」が率いる一団によりエクアドル人2名が誘拐されていることをエクアドル内務省が発表した。

ウ 6月22日、ナリーニョ県トゥマコ市郊外で、エクアドル人ジャーナリストら3名を含む4体の遺体が発見された。

(2) 政府とELN（国民解放軍）の和平交渉をめぐる動向

ア 4月18日、コロンビア国境付近で相次ぐ誘拐・テロ事件を受けて、エクアドルのモレノ大統領は、ELNとの和平交渉の協議場所提供から撤退することを発表した。

イ 5月10日、キューバ・ハバナ市においてELNとの第5回和平交渉が再開し、新たな停戦を協議する委員会設置を発表した。第5回和平交渉は停戦合意に至らず6月15日に終了した。

ウ ELNは大統領選挙投票日程に合わせて、5月25～29日及び6月15～19日の間、戦闘活動の停止を宣言した。ELNは新大統領に就任予定のイバン・ドゥケ氏に和平交渉の継続を求めた。

2 一般犯罪の傾向

(1) 犯罪別発生件数

第1四半期（4月～6月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国家警察統計）。

・殺人	3,045件
・強窃盗（対人被害）	60,909件
・強窃盗（邸宅、商業施設被害）	20,195件
・強窃盗（乗物被害）	9,749件
・性犯罪	5,597件

(2) 邦人及び外国人の犯罪被害事案

○ 4月15日、ボゴタ市キンタ・カマチョ地区において、邦人女性が一人で歩いていたところ、背後から30～40歳くらいの男が声を掛けてきて、袖口からナイフの柄のようなものを見せて金銭を要求してきたことから、女性が財布の中身を示したところ、男は財布から紙幣を奪い走り去った。

○ 5月7日、ボゴタ市エル・レティーロ地区のコーヒーショップ店内におい

て、邦人男性が椅子の背もたれにリュックサックを掛けたまま、ラップトップ型パソコンで作業をしていたところ、気付かない間にリュックサックが盗まれていた。

- 5月24日、ボゴタ市ラ・カンデラリア地区の飲食店内において、邦人男性が同伴者らとテーブルに着席し、右足下に鞆を置いておいたところ、前方から近づいてきた男（年齢50歳くらい、中肉中背、頭髪薄め、ビジネスカジュアルスタイル、サングラス着用）が邦人男性の隣を通り過ぎる際に、足下の鞆を持ち去った。
- 6月7日、ボゴタ市ロス・ロサーレス地区において、スペイン人男性がバーで知り合った男にスコポラミン（鎮痛剤、毒薬）を投与されて意識を失い、病院に搬送後、死亡が確認された。

3 テロ・爆発物事件発生状況

（1）発生件数（4月～6月）（出典：コロンビア国家警察統計）

22件

（2）発生事案

テロ・爆発物事件関連報道は以下のとおり。

- 4月3日、ボゴタ市シウダ・ボリーバル地区の交番に手榴弾が設置されているのが発見されて解体処理された。
- 4月6日、ナリーニョ県トゥマコ市において、電柱が爆破され停電が発生した。FARC離反兵の犯行と見られる。
- 4月7日、ナリーニョ県トゥマコ市において、銀行に設置された爆発物が発見され解体処理された。
- 4月7日、カウカ県コリント市において、バイク利用2人組が投擲した手榴弾の爆発により、警察官2名が負傷した。FARC離反兵の犯行と見られる。
- 4月12日、アンティオキア県サン・ペドロ・デ・ウラバー市において、走行中の警察車両が爆発に巻き込まれ警察官8名が死亡した。犯罪組織「クラン・デル・ゴルフオ」の犯行と見られる。
- 4月12日、コルドバ県カナレテ市において、道路に埋設された爆発物が通報により発見され、解体処理された。
- 4月13日、ナリーニョ県リカウルテ市において、石油パイプラインが爆破された。本年6件目の犯行。
- 4月18日、カケタ県フロレンシア市において、葬儀場が爆破され6名が軽傷を負った。
- 4月19日、アラウカ県フォルトゥル市において、武装組織が警察署を襲撃した。同市における警察署襲撃は本年7件目。
- 4月22日、ナリーニョ県トゥマコ市において、FARC離反兵が設置し

たとみられる地雷爆発により国軍兵士2名が死亡した。

- 4月22日、アラウカ県フォルトゥル市において、ELNの銃撃を受け国軍兵士が死亡した。
- 4月26日、アラウカ県プエルト・ホルダン市において、ELNゲリラとの銃撃戦により国軍兵士2名が死亡した。
- 5月1日、グアビアレ県サン・ホセ・デ・グアビアレ市において、FARC離反兵の攻撃により海兵隊兵士2名が死亡した。
- 5月3日、カウカ県コリント市において、武装集団が送電施設を破壊し、停電が発生した。
- 5月5日、アンティオキア県カウカシア市において、走行中の警察車両が銃撃を受け警察官2名が負傷した。
- 5月16日、ボリーバル県シミティ市において、ELNの銃撃を受け警察官1名が死亡した。
- 5月21日、バジェ・デル・カウカ県サンタンドール・デ・キリチャオ市の金物屋で爆発が発生し、2名が負傷した。商業人への恐喝目的と見られる。
- 5月24日夜間、バジェ・デル・カウカ県カリ市において、バイクに乗車した者がレストランに手榴弾を投げ込み、爆発により建物の一部が損壊した。
- 5月26日夜間、ボゴタ市内の保険会社で爆発が発生し、建物の一部が損壊した。現場にはMRP名義のビラが散布されていた。
- 6月8日、国家警察はボゴタ市内におけるテロ企図容疑でELNメンバー3名を逮捕した。
- 6月14日、メタ県エル・レトルノ市において、FARC離反兵が準備した爆発物を国軍・警察が発見し解体処理した。本年、メタ県及びグアビアレ県で解体された爆発物は累計263個。
- 6月15日、カウカ県カロト市郊外において、爆発物を搭載したバイクの爆発により、先住民族の住民1名が負傷した。

4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数(4月～6月) (出典:コロンビア国家警察統計)

ア 誘拐	26件
イ 恐喝	1,037件

(2) 発生事案

誘拐事件関連報道は以下のとおり。

- 4月5日、アラウカ県において、石油会社取締役及び請負業者2名がELNにより誘拐された。
- 4月13日、サンタンドール県プエルト・ウィルチェス市において牧場主が誘拐された。
- 4月16日、ノルテ・デ・サンタンドール県ティブ市で、保険会社の車両が

襲撃を受け、車両が燃やされた上、乗車していた会社員らが誘拐された。麻薬組織「ロス・ペルーソス」の犯行と見られる。

- 5月8日、カウカ県カロト市郊外で、エンジニアが誘拐された。E L N又はF A R C 離反兵の犯行と見られる。
- 5月25日、カウカ県北部の大麻生産地観光ツアーを運営していた女性（コロンビア及びアルゼンチン国籍保有）が誘拐された後に殺害された。F A R C 離反兵の犯行と見られる。
- 6月7日、マグダレナ県サンタマルタ市郊外で、公共バスが襲撃され、運転手、乗客を降ろした後に燃やされた。犯罪組織「ロス・パチェンカ」の犯行と見られる。

5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタ市を始めとする都市部では、テロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去最悪とされる2000年前後に比べ著しく改善された。しかし、2017年もボゴタ市内で爆発物テロが複数件発生、特に同年6月17日発生の「セントロ・アンディーノ」における爆発物事件は一般市民が巻き込まれており、警戒を怠ることはできない状況。

また、未だ山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発している。これら地域は、国軍・警察の影響力が低いため、人的・物的被害が絶えない。また、エクアドル、ベネズエラやパナマとの国境付近、太平洋岸はゲリラ組織や犯罪組織が活発に活動し、これら勢力争いに伴う銃撃戦も発生している。

F A R C は武装解除し、新党が設立され合法政党となったが、一部和平方針に従わない離反兵の活動も認められているほか、元兵士の社会復帰の成否如何によっては治安へ悪影響も懸念される。

E L N は政府と正式な和平交渉を行っているものの、依然としてテロ・誘拐を敢行しており、今後の和平交渉の進展には注視が必要である。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。